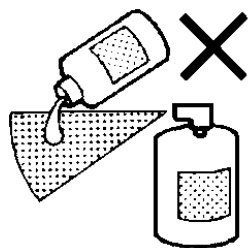


保守とお手入れ

注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- 器具が汚れた場合は水でしめしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。金属みがきサンドペーパー等は使用しないでください。
器具の破損・錆の原因になります。

- 器具に殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。
器具の変質・変色の原因になります。



- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入って入るか？
 - ・ランプが切れていないか？
 - ・ランプがソケットに確実にハマっているか？

- ご使用中に異常が生じた時は、ご使用になるのをやめ、速やかに電源を切って、お買い上げいただきました販売店・工事店へご相談ください。

[お読みにになりましたら、この取扱説明書は、いつでもご覧になれる所に、大切に保存してください。]



アフターサービスのお問い合わせ

ヤマギワ	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号
リビナ本館	TEL (03) 3253-5111 (代表)
ダ・ドリアデ	〒107-0062 東京都港区南青山 3丁目16番3号
青山	TEL (03) 5770-1511 (代表)
東京営業部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3丁目4番地
	TEL (03) 3253-5143 (代表) 龍名館本店ビル10階
外商営業本部	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3丁目4番地
	TEL (03) 3253-5150 (代表) 龍名館本店ビル10階
札幌営業所	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西 1丁目10番地
	TEL (011) 221-1321 (代表) ビア2・1ビル6階
仙台営業所	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 1丁目13番22号
	TEL (022) 227-1251 (代表) 仙台松村ビル3階
横浜営業所	〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町 1丁目1番14号
	TEL (045) 664-2871 (代表) 関内駅前エスビル8階
ヤマギワ	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵 1丁目22番20号
名古屋店	TEL (052) 931-2111 (代表)
名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵 1丁目22番20号
	TEL (052) 931-3223 (代表)

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いている型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、表の「部品名称」のイラストをご参照ください。

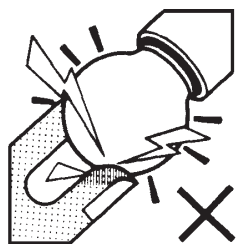
ヤマギワ	〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町 3丁目6番1号
大阪照明館	TEL (06) 6258-6561 (代表) 鴻池ビル1階
近畿営業部	〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町 3丁目6番6号
	TEL (06) 6258-6721 (代表) 御堂筋センタービル2階
金沢営業所	〒920-0901 石川県金沢市彦三町 2丁目1番45号
	TEL (076) 222-6733 (代表) 明治安田生命金沢第二ビル5階
高松営業所	〒760-0062 香川県高松市塩上町 3丁目8番11号
	TEL (0878) 39-3195 (代表) クリエイトビル302
広島営業所	〒730-0032 広島県広島市中区立町 2番25号
	TEL (082) 249-5255 (代表) 広島ロプロビル9階
福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴 2丁目1番10号
	TEL (092) 721-5661 (代表) 福岡ロプロビル7階
宇都宮出張所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 6丁目7番16号
	TEL (028) 638-1002 マスミートールビル2階
高崎出張所	〒370-0071 群馬県高崎市小八木町 2008番5
	TEL (0273) 62-6920 三恵レジデンス107
静岡出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町 7番6号
	TEL (054) 273-5305 ロースガーデン406

所在地・電話番号が変更になることがありますのであらかじめご了承ください。



- 器具のすきまに金属類（針金・ピン等）を差し込まないでください。
感電の原因になります。

- 点灯中および消灯直後のランプは高温になっています。手をふれないでください。
やけどの原因になります。



取扱説明書

iGuzzini

FRAME DOWN LIGHT

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいますと誠にありがとうございます。

この説明書をよくごらんの上、正しく取付け正しくご使用ください。

この取扱説明書の記載内容は、次の目次の通りです。

- 電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目次	1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
	2 ページ：定格表・部品名称・取付方法
	3 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意・ランプ交換のしかた・照射方向の調整
	4 ページ：保守とお手入れ・アフターサービスのお問い合わせ

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

警告



火災のおそれがあります

電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。

電気工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります

取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。

器具の取付けは、取付場所（天井）の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。

強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。

感電のおそれがあります

工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。

ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。

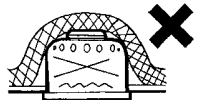


火災のおそれがあります

被照射面との距離は、照射面近接限度の距離以上に離してください。

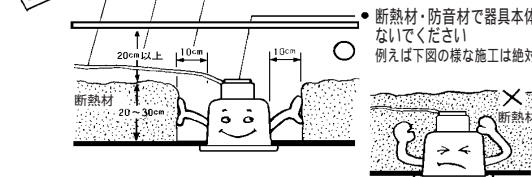
器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。

断熱材・防音材でおおわないでください。



▶断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について◀

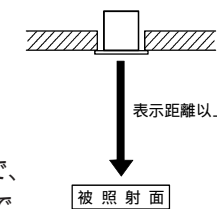
- 電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください
- 断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です
- 器具からの断熱材・防音材までの距離を10cm以上離してください
- 断熱材・防音材で器具本体の放熱穴等をふさがないでください
- 例えば下図の様な施工は絶対にしないでください。



ダウンライトの図は、一部省略抽象化した共通部品図です。

■器具貼付の距離シール

2.0m 60℃



上の図は指定距離2.0mで、被照射面温度が60℃までであることを示します

- 住宅の断熱施工天井では使用できません。
法律により禁じられています。
- 住宅以外の建物に使用するときは、上図のように行って下さい。

注意

電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は **法律で禁止されています。**

表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。 **感電・火災の原因となります。**

器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を、回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。 **器具の落下による けがの原因となることがあります。**

調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。 **火災の原因となります。**

周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。誤って高温の所に設置しますと、

火災の原因となります。

可燃性材質のドア等の近くの天井に器具を設置する場合には、ドア等の開閉範囲でドア等の上部と器具との距離が指定距離より近くなるようにしてください。 **火災の原因となります。**

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では、使用しないでください。 **落下・感電・火災の原因となります。**

お願い 電気工事店様へ、この説明書はお客様に必ずお渡しください。

定格表

カタログ番号・型番	使用ランプ (ランプ別売)	灯数	使用トランス (トランス別売)	消費電力	最小 照射距離	切込穴寸法 (単位mm)	質量
D9039W・S E5DK-15Z4-1W・S	ハロスポットφ111 G 53 12V 75W (低内圧形)	1	専用トランス	75W	2.0 m	Φ 171	0.8 Kg
D9040W・S E5DK-16Z1-1W・S		1		75W		□ 167	1.0 Kg
D9041W・S E5DK-16Z1-2W・S		2	Z 6 0 1 7	150W		169 × 327	1.8 Kg
D9042W・S E5DK-16Z1-3W・S		3		225W		169 × 487	2.6 Kg
D9043W・S E5DK-16Z1-4W・S		4	12V75W	300W		□ 330	3.1 Kg
D9044W・S E5DK-16Z1-6W・S		6		450W		169 × 967	4.9 Kg
			(×灯数分)				

部品名称

■ 器具分解図

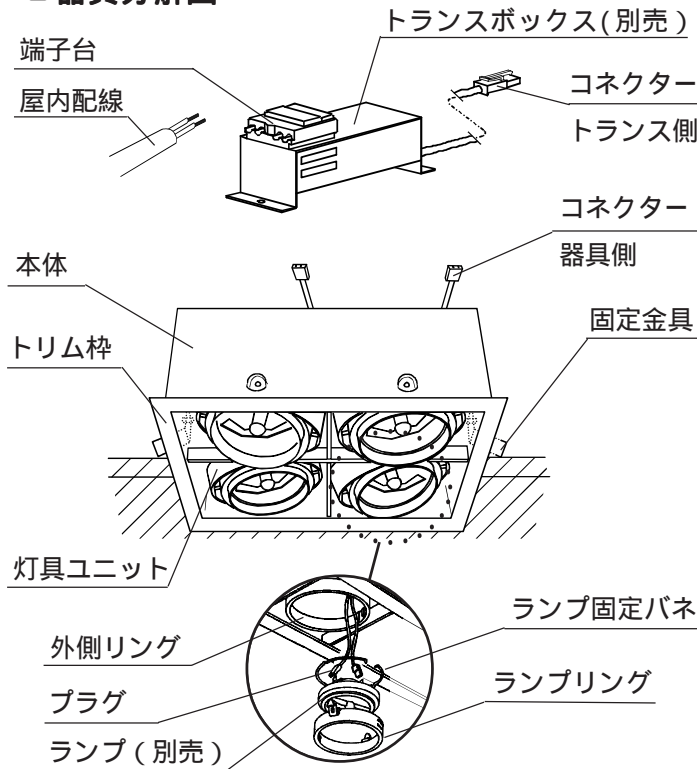
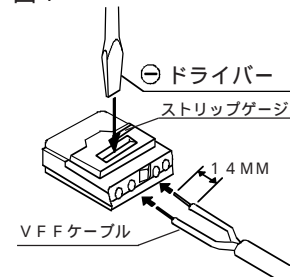


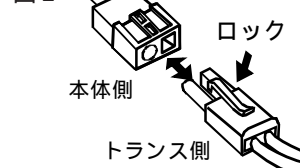
図 1



適合電線：Φ1.6Φ2.0 単線
送り容量：20 A まで

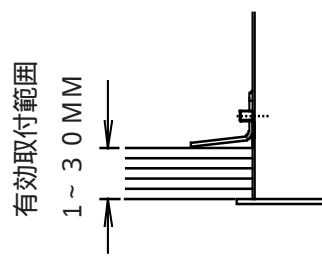
電源線をストリップゲージに合わせて14MM被覆を剥いてください。
矢印の方向に止まるまでぐっと強く差し込んだ後引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
外すときは解除釦を - ドライバー等で押し込みながら外してください。

図 2



コネクターはロックされるまで確実に差し込んでください。
外す時はロックを解除してから抜いてください。

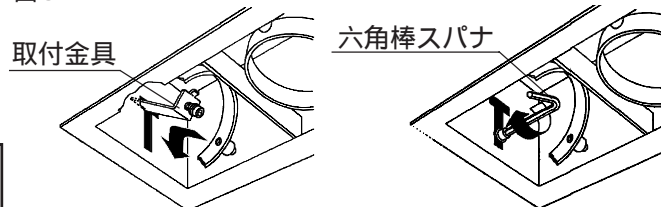
天井板厚寸法



取付方法

- ①取付前の確認をする
取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ②切込寸法（上記定格表参照）に従って天井に切込穴をあける
切込寸法公差は±2mmとしてください。
正しく器具を取付ける為には、天井の板厚は1mmから30mmの範囲（下記天井板厚寸法参照）に仕上げてください。
強度が足りない場合は補強工事を行ない、また必要に応じて、野縁を組んでください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ③電源線を端子台に接続する（図1）
屋内配線を専用トランスボックス（別売）の端子台に接続した後、天井裏に設置します。このとき必ず電源を切った状態で作業を始めてください。
通電したまま作業を進めると、感電・器具破損のおそれがあります。
- ④トランスを接続する（図4）
次に本体側とトランス側のコネクターを一対一で接続します。
トランスボックスはランプの数と同数必要です。
不備がありますと、不点灯・火災のおそれがあります。
- ⑤本体を取付ける（図3）
天井に器具本体を挿入し、取付金具を使用して、しっかり固定します。このとき本体下部のトリム枠と天井面との間に段差ができないよう注意してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ⑥ランプを取付ける（ランプ別売）
3ページの「ランプ交換のしかた」に従い、ランプを取付けます。
不備がありますと、不点灯・感電・火災・器具落下のおそれがあります。
- ⑦照射方向の調整
3ページの「照射方向の調整」に従って、照射方向を設定してください。

図 3



取付金具用穴に金具を入れ充分引き下げて、六角穴付き止めネジを締め付けて固定します。
このとき金具が天井にしっかり掛かるようにご注意ください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

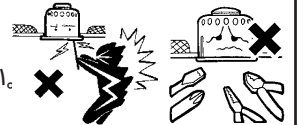
⚠ 警告



感電のおそれがあります
ランプの交換や器具のお手入れのときには、必ず電源を切ってください。
感電・火災のおそれがあります
異常時（煙が出たり、変な臭いがするとき）には、速やかに電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。



感電・火災のおそれがあります
器具及び部品を改造しないでください。
器具のすきまに異物（金属類や燃えやすいもの等）を差し込まないでください。
可動部分は、可動範囲以上に無理に動かさないでください。



やけどのおそれがあります
点灯中および消灯直後のランプは大変熱くなっています。さわらないでください。
ランプ交換は消灯後ランプが冷えるのを待って、作業を始めてください。

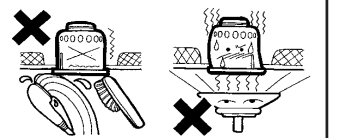


火災のおそれがあります
器具を紙・布・断熱材等で覆って使用しないでください。
器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
被照射面との距離は、照射面近接限度の距離以上に離してください。



⚠ 注意

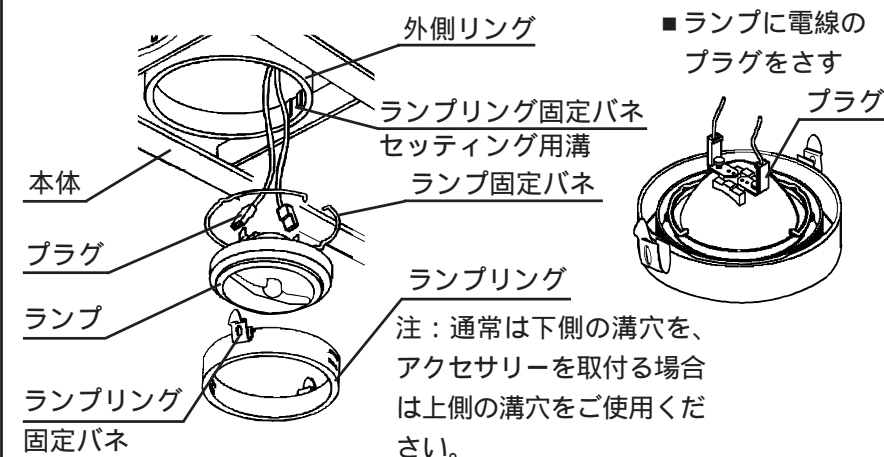
器具に水をかけたり、水の中に漬けて洗わないでください。
感電・火災の原因となります。
器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。
器具の変形や火災の原因となることがあります。
周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。**火災の原因となります。**
明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。
器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落がないかお調べください。



ランプ交換のしかた

ご注意：作業は必ず、消灯後20分待ってランプが冷えてから開始してください。

使用ランプ ハロスポットφ111 G 53 12V 75W（低内圧型）



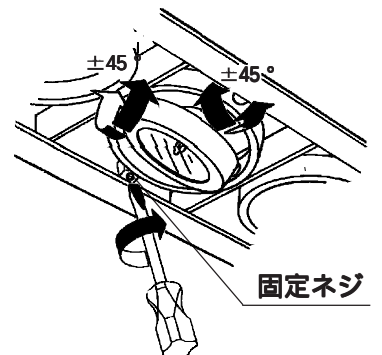
■ランプに電線のプラグをさす

注：通常は下側の溝穴を、アクセサリーを取付の場合は上側の溝穴をご使用ください。

外側リングからランプリングを外します。
ランプ背面の端子にプラグしっかりと差し込みます。
ランプリングにランプをセットして、ランプ固定バネを使って固定します。
外側リング内側のセッティング用溝に、ランプリング固定バネを合わせて、ランプリングを挿し込みセットします。

照射方向の調整

■ 器具可動範囲



器具の可動は、照射方向の上下左右方向への傾きです。
それぞれ上図の通り±45°の範囲で可動します。
範囲を超えて無理に動かしますと器具を破損するおそれがあります。

■ 照射方向の固定

照射方向を固定する場合、「外側リング」の固定ネジをドライバーで締めてください。
ネジを締めすぎますと、器具を破損するおそれがありますのでご注意ください。